



鬼 ©川本プロダクション

生誕100年 川本喜八郎

主催：広島市映像文化ライブラリー、有限会社川本プロダクション、株式会社エコー
後援：日本アニメーション協会 [JAA](#)
協力：ひろしま国際平和文化祭実行委員会

2025年1月11日(土)、12日(日)

日本のアニメーション史に多大な功績を残したアニメーション作家・川本喜八郎(1925-2010)の生誕100周年を記念して特別上映会を行います。あわせて、同じ1月11日生まれであり、交流の深かった岡本忠成の生誕93周年も記念します。

※当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。
※上映開始30分後からの入場はおことわりします。



川本喜八郎 ©川本プロダクション



いばら姫またはねむり姫 ©川本プロダクション



川本喜八郎 ©川本プロダクション



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 FAX082-228-0312 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間：火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日：月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日

Aプログラム：川本喜八郎短篇集（5作品・87分）

■1/11(土) 14:00～ ■1/12(日) 10:30～ ※上映前挨拶あり。ゲスト/福迫福義(川本プロダクション代表)

鬼 (1972/8分/35mm) 詩人の生涯 (1974/19分/35mm) 道成寺 (1976/19分/35mm)

火宅 (1979/19分/35mm) いばら姫またはねむり姫 (1990/22分/35mm)

文楽の人形デザインや音楽を採り入れつつ今昔物語を下敷きとして怪談を描いた『鬼』、安部公房の短篇を切り絵アニメーションによって映像化した『詩人の生涯』、安珍清姫の伝説をもとに妄執の物語を描いた『道成寺』、能の「求塚」に着想を得た『火宅』、岸田今日子の同名短編小説を原作にしたチェコとの合作『いばら姫またはねむり姫』、さまざまな技法を用いながら独自のテーマを探求した軌跡を回顧する。



鬼 ©川本プロダクション



詩人の生涯 ©川本プロダクション



道成寺 ©川本プロダクション



火宅 ©川本プロダクション



いばら姫またはねむり姫 ©川本プロダクション

Bプログラム

■1/11(土) 18:00～ ■1/12(日) 14:00～ ※上映後トークあり

死者の書

川本喜八郎 (2006/70分/35mm)

監督・脚本/川本喜八郎

声の出演/宮沢りえ、観世鍔之丞、黒柳徹子、江守 徹

蓮系曼荼羅伝説と大津皇子の史実をモチーフにした折口信夫の小説「死者の書」を原作に、若くして非業の死を遂げた皇子のさまよえる魂と、それを鎮める姫の姿を通して解脱について描く。

1/12(日)14:00の回、上映後トークあります。(約40分)

ゲスト/細川 晋(アニメーター、映像作家)



©川本プロダクション



©川本プロダクション

Cプログラム：岡本忠成短篇集（6作品・99分）

■1/11(土)10:30～

ホーム・マイホーム (1970/4分/35mm) 花ともぐら (1970/15分/35mm)

モチモチの木 (1972/17分/35mm) 南無一病息災 (1973/18分/35mm)

おこんじょうり (1982/26分/35mm) 注文の多い料理店 (1991/19分/35mm)

紙を立体的に用いた『ホーム・マイホーム』、寓話的SFの人形アニメーション『花ともぐら』、和紙による『モチモチの木』、音楽にのせて切り絵の手法で表現した『南無一病息災』、張り子人形を用いた人形アニメーション『おこんじょうり』。セルアニメーション『注文の多い料理店』では制作中に岡本が急逝したため、川本が監修というかたちで引き受けて完成させた。



ホーム・マイホーム



花ともぐら ©学研・エコー



モチモチの木



南無一病息災



おこんじょうり ©桜映画社・エコー



注文の多い料理店